

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所		修正前	修正後
名称			
1		SAPPORO 2026 OLYMPIC AND PARALYMPIC WINTER GAMES オリンピック・パラリンピック冬季競技 大会 開催概要計画書(案)	2026 HOKKAIDO SAPPORO OLYMPIC AND PARALYMPIC WINTER GAMES 2026北海道・札幌オリンピック・パラリンピック 冬季競技大会 開催概要計画書
P1 招致の意義			
2		(5行目以降) 再び冬季オリンピックを開催し、初 のパラリンピックを開催することは、 子どもたちに夢と希望を与え、冬季 スポーツを振興し、世界平和に貢献 するというオリンピック本来の意義に 加え、都市基盤および冬季スポーツ 施設の更新や、バリアフリー化の促 進といった都市のリニューアルを推し 進めるほか、札幌・北海道のみなら ず、日本全体の活性化につながる といった効果が期待されます。	(5行目以降) 再び冬季オリンピックを開催し、初のパラリン ピックを開催することは、子どもたちに夢と希 望を与え、冬季スポーツを振興し、世界平和 に貢献するというオリンピック本来の意義に加 え、都市基盤および冬季スポーツ施設の更新 や、バリアフリー化の促進といった都市のリ ニューアルを推し進めることとなります。 <u>また、環境に優しい自然豊かな北海道の魅 力を世界の人々にアピールする絶好の機会 でもあり、世界各国から訪れる観光客の誘客 や道産食材等のPR、スポーツ合宿の誘致 等、北海道全体の地域経済の活性化につな がるものと考えられます。</u> 以上により、札幌のみならず北海道全体で 大会を開催することを通じて、地方創生の起 爆剤となることが期待されます。
P4 大会コンセプト			
3	視点1:大会運営 3.パラリンピックの さらなる発展を	○オリンピックとパラリンピックの融合 により、互いに手を携え、誰もが活躍 できる共生社会への実現へつなげ ていきます。  ○障がい者スポーツの大会を積極 的に開催し、 <u>パラリンピック、パラリン ピアン</u> のプレゼンスを向上させると ともに、 <u>障がい者スポーツの普及・発 展に寄与することで、バリアフリー社 会を構築していきます。</u>  ○ <u>パラリンピックの大会を契機に、競 技会場や会場へのアクセスにおける ユニバーサル化を進めます。</u>  ○ <u>パラリンピックを契機に、パラリン ピック教育を推進するなど、ノーマラ イゼーションの理念を広め、心のバ リアフリー化を進めます。</u>	○オリンピックとパラリンピックの融合により、 互いに手を携え、誰もが活躍できる共生社会 の実現へつなげていきます。  ○障がい者スポーツの大会を積極的に開催 し、 <u>障がい者スポーツの普及・発展に寄与す るとともに、パラリンピック、パラリンピアン</u> の認 知度を向上させることで、 <u>インクルーシブな社 会の構築を目指していきます。</u>  ○ <u>パラリンピックを契機に、会場や交通機関 におけるアクセシビリティ※の向上を進めま す。</u>  <u>※アクセシビリティとは、障がいの有無に関わら ず、また幅広い年齢の人々が、社会的インフラ、 施設、設備、製品、サービスにスムーズにアクセス し利用可能なこと</u>  ○ <u>パラリンピック教育を推進することで、ノーマ ライゼーションの理念を広め、心のバリアフ リー化を進めます。</u>

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所	修正前	修正後
P10 施設整備のコンセプト		
4	「ユニバーサル」	<p>すべての人にやさしい施設整備を進めます。</p> <p>•競技会場はスロープやエレベーターの設置等、誰もが移動しやすい施設とします。</p> <p>•会場へのアクセスとなる交通機関や駅などは<u>バリアフリー化を進めます。</u></p> <p>すべての人にやさしい施設整備を進めます。 <u>施設建設にあたっては、整備計画段階から、競技者の視点を取り入れながら進めていきます。</u></p> <p>•競技会場は<u>国際パラリンピック委員会 (IPC) の基準を踏まえたスロープやエレベーターの設置等、誰もが移動しやすい施設とします。</u></p> <p>•会場へのアクセスとなる交通機関や駅などは<u>アクセシビリティの向上を図ります。</u></p>
P15、P51 競技会場一覧		
5	■パラリンピック	(表下に追加)  ※バイアスロンとクロスカントリーについては同会場での開催を検討
P17		
6	練習会場マップ	(新規追加)  <p>•選手にとって最適な環境を整えます。</p> <p>•<u>スポーツコミッションを中心とした調整体制を整え、平昌、北京オリパラを含む合宿誘致に取り組みます。</u></p> <p>•<u>全道各地の魅力が高まるよう、レガシーとしての後利用促進を図っていきます。</u></p>
P52 パラリンピック競技		
7	■大会コンセプト	<p>パラリンピックを契機に新たな時代に対応した、すべての人にやさしい豊かな暮らしを創出します。</p> <p>競技会場や会場へのアクセスにおける<u>ユニバーサル化を進めるとともに、パラリンピック教育を推進するなど、ノーマライゼーションの理念を広め、心のバリアフリー化を進めます。</u></p> <p>パラリンピックを契機に新たな時代に対応した、すべての人にやさしい豊かな暮らしを創出します。</p> <p><u>会場や交通機関におけるアクセシビリティの向上を進めるとともに、パラリンピック教育を推進することでノーマライゼーションの理念を広め、心のバリアフリー化を進めます。</u></p>
8	■バリアフリー化	<p>計画段階からの国際基準に合った<u>バリアフリー化を検討し、体育館等のバリアフリー化を推進するとともに、小・中学校のバリアフリー教育もさらに拡充します。</u></p> <p>市民、道民による、<u>パラリンピック競技の体験を通じて、パラリンピックへの理解、選手を応援する気持ちの醸成を図ります。</u></p> <p>計画段階からの国際<u>パラリンピック委員会 (IPC) の基準を踏まえたアクセシブルな会場整備を行うとともに、体育館等のバリアフリー化を推進します。</u></p> <p>また、小・中学校等における<u>インクルーシブ教育システムの構築や、パラリンピック競技の体験を通じて、市民、道民におけるパラリンピックへの理解、選手を応援する気持ちの醸成を図ります。</u></p>

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所	修正前	修正後
P55 オリンピック・パラリンピック選手村		
9	<p>■ホスピタリティ</p>	<p>すべての人に向けたきめ細やかな配慮で、ホスピタリティを提供 多言語表記・ピクトグラムによる案内表示を行い、さらに多言語対応のコンシェルジュも配置します。 また、車いすなどに配慮した段差の解消、視覚障がい者誘導用床材、音声誘導装置など障がい者を念頭に置いた施設整備も行います。</p> <p>すべての人に向けたきめ細やかな配慮で、ホスピタリティを提供 多言語表記・ピクトグラムによる案内表示を行い、さらに多言語対応のコンシェルジュも配置します。 また、車いすなどに配慮した段差の解消、視覚障がい者誘導用床材、音声誘導装置など障がい者を念頭に置いた施設整備も行います。 なお、大会期間中にアスリートが家族と面会したり、市民との交流が可能となるミックスゾーンの設置等、選手がリラックスできる環境を整えます。</p>
P74 財政計画		
10	<p>(追加) ■更なる経費削減に向けて</p>	<p>(新規追加)</p> <p>■更なる経費削減に向けて ・更なる民間資本の積極活用に向け、民間参入しやすい計画づくりを引き続き進めます。 ・国内に数箇所しかない競技施設の整備等について、国立施設の整備に関して国と協議していきます。 ・市民、道民が不安や疑念を抱かないよう継続的に財政情報を開示します。</p>
P75 国際大会及び会議の開催状況 □大規模国際大会・国際会議における豊富な開催実績		
11	<p>■今後の国際スポーツ大会</p>	<p>(最下段に追加)</p> <p>・IPC ノルディックスキーW杯(バイアスロン・クロスカンントリー)(2017年) ・FIS ノルディックコンバインドW杯(2017年)</p>
P77 □各競技団体と連携した全面的な支援		
12	<p>■札幌市の支援策</p>	<p>(最下段に追加)</p> <p>・競技団体と連携したパラリンピック競技を含む長期的な選手強化に対する支援 ・海外遠征を含めた選手支援 ・トップ指導者の招聘支援</p>
13	<p>■NTCの誘致と選手育成</p>	<p>(新規追加)</p> <p>■NTCの誘致と選手育成 冬季版総合ナショナルトレーニングセンター(NTC)の誘致等、冬季競技のトレーニング環境を充実させ、選手強化を全面的に支援します。 また、野球やサッカー等、夏季競技とも一体化した選手育成を支援します。 さらに、障がいのある子どもがスポーツを楽しめる環境を作り、障がい者スポーツの裾野を広げていきます。</p>

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所	修正前	修正後
P78		
オリパラムーブメント推進事業		
14	<p>■オリンピックと文化芸術との融合</p>	<p>(8行目～) さらに、「さっぽろ雪まつり」の巨大な雪氷像や、プロジェクションマッピングなども活用し、世界中の観光客に向けてオリンピックを発信します。</p>
15	<p>■多様性を学ぶ機会の創出、多様性を尊重する心のはぐくみ</p>	<p>(P78)</p> <p><b>学校での教育活動</b> オリンピック・パラリンピック教育を通じて、児童生徒が世界に目を向けるきっかけを提供します。 また、外国の子どもたちとのスポーツ交流を通じて、スポーツが世界共通言語であり、世界平和に貢献できることの理解を促進します。</p>
P81		
オリンピック・パラリンピックにより何を遺すか		
□ウインタースポーツを楽しむ文化を次世代へ		
16	<p>■ウインタースポーツ人口の拡大</p>	<p>(本文省略)</p> <p>○公園などで気軽にウインタースポーツができる環境づくり ○ウインタースポーツの体験機会を提供</p>
<p>(本文省略)</p> <p>○公園などで気軽にウインタースポーツができる環境づくり ○アスリートとの交流を含めたウインタースポーツの体験機会を提供 ○競技人口の増加につながるアスリート等による裾野拡大の取組み ○「観るスポーツ」の進化により、市民のウインタースポーツへの関わり方を変える取組み ○学校や地域でのウインタースポーツ教育の充実による裾野拡大 ○用具レンタルやリユースによる裾野拡大</p>		

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所		修正前	修正後
17	■「パラリンピック」の更なる理解へ	<p>(P81)</p> <p>パラリンピックの開催を契機に、<u>パラリンピック教育を推進するなど、ノーマライゼーションの理念を広めていきます。</u> また、障がいの有無を問わないインクルーシブな大会を開催していきます。</p> <p>さらに、オリンピックとパラリンピックの融合により、互いに手を携え、誰もが活躍できる共生社会の実現につなげていきます。</p>	<p>(P82)</p> <p>パラリンピックの開催を契機に、ノーマライゼーションの理念を広めていきます。</p> <p>また、障がいの有無を問わないインクルーシブな大会を開催していきます。</p> <p>さらに、オリンピックとパラリンピックの融合により、互いに手を携え、誰もが活躍できる共生社会の実現につなげていきます。</p> <p>○パラリンピック教育の推進</p> <p>○障がい者スポーツの裾野の拡大、指導者育成</p> <p>○選手と子どもたちの交流や障がい者スポーツ大会へのボランティア参加の促進</p> <p>○障がい者スポーツを気軽に体験できる機会の創出</p> <p>○大会の積極的誘致</p>
<p>P83</p> <p>オリンピック・パラリンピックにより何を遺すか</p>			
18	見出し	<p>□世界に誇るウインタースポーツ都市「さっぽろ」へ</p>	<p>□世界に誇るウインタースポーツ王国「北海道」へ</p>
19	(追加) ■どさんこアスリート育成	<p>(新規追加)</p>	<p>■どさんこアスリート育成</p> <p>大会の成功に不可欠であるメダリストを北海道から生み出すため、アスリートの育成を支援します。</p> <p>○スケルトン、バイアスロン、カーリング等の冬季競技を中心に小中学生からタレントアスリートの発掘</p> <p>○夏季競技も含めた交流による選手発掘</p> <p>また、冬季競技の盛んな道内市町村と札幌市が連携し、幼少期(市町村)から青年期(札幌市)までの一貫した育成システムを整えることにより、冬季スポーツの振興を図っていきます。</p> <p>さらに、JOCが実施するアスナビ事業等とも連携しながら、選手への支援の多様化を進めていきます。</p>

冬季オリンピック・パラリンピック招致に係る開催概要計画の当初案からの修正点

箇所		修正前	修正後
20	(追加) ■北海道の魅力を世界に	(新規追加)	<p>(P84)</p> <p><b>■北海道の魅力を世界に練習会場としての利用</b>  <u>各国の選手団が道内各地の練習会場を利用することにより、世界のトップアスリートと道民の交流が生まれるほか、観光地としての魅力を世界にPRします。</u></p> <p><b>北海道全体で取り組むスポーツ合宿誘致</b>  <u>冬季競技に限らず夏季競技も含めたスポーツ競技の合宿を、全道各地で受け入れ、おもてなしにより北海道の魅力をPRしていきます。</u></p> <p><b>関連施設整備への道産材料の積極的使用</b>  <u>大会関連施設の整備に道産材料を積極的に使用することにより、道内の林業や製造業などの活性化につなげます。</u></p> <p><b>北海道の食文化の世界への発信</b>  <u>オリンピック・パラリンピックを通して北海道の食の文化が世界から注目されることにより、道産食材の需要が高まり、道内の農業や漁業などの一次産業の活性化につなげます。</u></p>
<p>P85</p> <p>(追加) □仮設施設の有効利用</p>			
21		(新規追加)	<p>□仮設施設の有効利用</p> <p>・<u>大会で使用した仮設施設を移築あるいは部分的な再利用を行い、オリンピック・パラリンピックで使用したという記憶を残すとともに再利用による有効活用を図ります。</u></p> <p>○<u>レガシーとして道内各地の競技場等に活用</u></p> <p>○<u>災害時の利用等の有効活用</u></p>